

自治ひろこ

1649号

2024. 4. 1

月2回(1日、15日)発行 定価10円

購読料は組合費に含まれる。

自治労兵庫県本部

書記長/尾西亮太郎・編集人/秦 信昭

当面の日程

- 4日 衛生医療評議会レベルアップ講座 (ウェブ開催)
- 6日 障害者春闘2024 (神戸市立障害者センター)
- 13日 自治労文芸作家:佐原ひかりさん特別公開学習会 (オンライン講演会)

発行 全日本自治団体労働組合 兵庫県本部

〒650-0004 神戸市中央区中山手通3-4-8 大東ビル TEL078-392-0820 FAX 078-392-0920
http://www.jichiro-hyogo.jp/ E-mail:jhyogo@jichiro-hyogo.jp



市町振興課交渉

会計年度の遡及改定を強く助言

次年度に向け改善への回答引き出す

県本部は、市町の人事行政への助言を業務とする県総務部市町振興課に対し、年2回の申入れを行うとともに、協議の場を持ち、市町への助言内容や勤務・労働条件に関する見解を確認している。今年も春闘期に合わせ、3月7日に協議を行った。

協議冒頭に県本部から、「けた助言をしていく」という回答が出された。

未払い賃金や安全衛生委員会の未実施などの市町の法令違反について、適正化までの粘り強い助言を強く要請した。これに対し市町振興課からは「法令違反は許されるべきではない」という認識のもとで、引き続き文書や会議の場で適正化に向けた助言するのではなく、給与水準が適正であるかどうかを判断基準に助言をしていくという見解であった。



市町振興課の見解を求める交渉団

県本部からは、引き続き国公と比べて特に低い水準の自治体に対し、改善を助言するように求めた。

長時間労働の縮減については、他律的業務の指定部署の割合が高い市町への助言を求めたほか、厚労省のガイドラインに基づく労働時間の適正把握を徹底させ

る。また、定年引き上げや能登半島地震の復興支援等を含めた協議結果については、今後の交渉材料とするため単組に文書を発出した。

課題については県本部と市町振興課は、問題意識を共有していることから、引き続きそれぞれの立場で取り組みを進めていくことを確認した。

その他、定年引き上げや能登半島地震の復興支援等を

含む。また、定年引き上げや能登半島地震の復興支援等を

山会選挙 篠波議員 丹市議

川崎、野々村両氏へ最大限の支援を

4月14日告示、投開票は4月21日

4月21日執行の丹波篠山市議選に、県本部は無所属新人の川崎律子さんと、元単組委員長野々村康さんの2人の推薦を決定。川崎さんは、元会計年度任用職員として人権推進課に勤務。部落解放同盟支部役員としても活動し、差別のない人権尊重のまちづくりを進めるとし、野々村さんは労働者の経済的豊かさを実現し、活力あるまちづくりをめざす。選挙は定数18人に対し27人が立候補を予定。



野々村康さん

1983年 丹南町役場入職
1999年 丹南町職副委員長
1999年 合併により篠山市職副委員長
2002年 篠山市職委員長
2005年 篠山市職労働執行委員長
2006年 但馬丹波ブロック副議長
2008年 但馬丹波ブロック事務局長などを歴任



川崎律子さん

1986年 多紀産業株式会社入社
1989年 同上退社
2006年 JA丹波篠山入社
2020年 同上退社
2021年 丹波篠山市会計年度任用職員
2023年 同上退職
現在、部落解放同盟丹波篠山市連絡協議会幹事・部落解放同盟支部女性部長

連合兵庫決起集会

春闘でステージを変えよう 物価上昇に対応した実質賃金を

連合兵庫は3月2日、2024春季生活闘争政策・制度要求実現決起集会を神戸地協と合同で神戸・松方ホールで開催した。



あいさつをする福永会長

春闘における回答ゾーン前段の重要段階を迎えるにあたり、神戸会場以外で同時時間帯に県内5会場でも決起集会が開催された。集会冒頭、あいさつに立った福永明連合兵庫会長は「みんなで賃上げ。ステージを変えよう」をスローガンとした今春闘について、組合員に春闘への連帯を呼びかけた。その後、情勢報告や集会決議が採択され、団結がんばろうで集会を終えた。

帯力の重要性を強調。また、「中小企業での賃上げが経済の好循環を牽引する鍵であり、春闘はその起点である」とした。昨年の高水準な賃上げの成果をあげつつも、実質賃金の物価上昇への対応の必要性を指摘し、組合員の団結がステージを変える鍵であると訴え、協力を呼びかけた。

立憲民主党 参議院議員

岸まきこ

とともに

全世代が安心して暮らせる 社会保障制度を 確立しよう!

自治労は、第27回参議院選挙の全国比例区に「岸まきこ」現参議院議員の擁立を決定しました。

岸まきこ 公式サイト kishimakiko.com/ 岸まきこ 検索

「定年まで働きたいと思う魅力的でやりがいのある職場づくり」のために、今後にも新たな組合加入者とともに「人員確保」と「賃上げ」の取り組みをし続けることが必要だ!

いまいち座

STOP BOMBING GAZA
FREE GAZA
STOP GENOCIDE IN GAZA
もう殺さないで

球春到来。センバツ高校野球は終わったが、プロ野球、大リーグが開幕した。そんな中、結婚を発表した「オタニフィーバー」が新聞やマスコミをにぎわせている。さて、先日の会議で「最近の新規採用者は、役所への就職をステップアップの1つとしか考えず、早期に退職する人がいる」という単組実態を聞いた。その理由は役所の仕事にやりがいを感じないということ。これまで「定年まで安心して、健康で働き続けられる職場づくり」を言い続けてきたが、この言葉が若い人たちには響かないということなのか。この機関紙が皆さんに届く頃には、新採職員の組合加入説明会などの取り組みの真の只中だと思ふ。

松本 真紀子

県本部2024春闘討論集会分科会報告

2月10日に開催した県本部2024春闘討論集会では、春闘課題である①人員確保、②賃金闘争、③定年延長の3つの分科会を開催し、各単組での取り組み状況や課題について議論を深めた。参加した全単組において、課題を共通認識し、分散会を閉じた。

人員確保

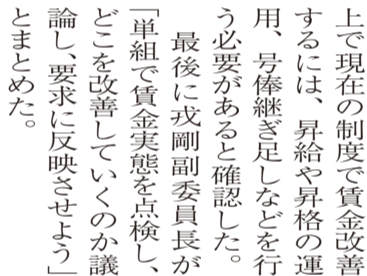
県職労は2018年に人員30%減。増えたのは保健師と児童福祉司、土木職のみ。5月から昼休みに食事をしながら職場の問題点を話し合う取り組みを実施。新たに自治労共済の「団体生命共済」加入にも力を入れている。豊岡は今後5年間で24人減の当局提案に対し、組合は「業務量を考えてください」とし人員増を求めていく。三田や小野では、年齢構成がいびつになっている。毎年職場の現状把握に取り組み、人員確保闘争につなげている。尼



崎は会計年度を含め174人の欠員。特に技術職と保健師が不足。姫路も技術職が足りず、特に土木職が低調などの職場実態が出された。今後の人員確保闘争に向け、職場オルグなどで実態を把握し、要求書にして交渉することを確認した。

賃金闘争

第2分科会では、賃金制度の基本を学習したあと、各単組でモデル賃金を作成できるようにするための実習を行った。その後、各単組の賃金闘争の現状や課題についてグループ交流を実施した。



賃金制度の基本は、橋本維文執行委員が「基幹号給」「昇給昇格」などを説明し、「生涯賃金という視点で見えていくことが重要だ」と強調した。実習では、初任給水準や在級年数、組合員到達級が異なる3自治体を例に、モ

定年延長

定年引き上げに伴う賃金や労働条件の確認を行うとともに、加齢困難職種にスポットを当てて参加者全員で意見交換を行った。これまで労働組合として高齢層の意見を聞きながら取り組みを進めていたが、円滑に業務を進めるためには若手組合員の声も聴くことが大切であることを確認。特に定年延長となる大先輩が部下となるため、定年延長に対応した柔軟な働き方を追求することも必要であることを確認した。最近ではカスハラなど市



民対応に苦慮している窓口も多くあることから、先輩方の力も借りながらの応援体制など、新たな業務も考えていく必要があることをまとめ、最後に賃金改善も含め、65歳まで安心して働き続けられる職場をめざす取り組みを進め行くことを確認した。

現業闘争2024交流集会

通年闘争で団結を強固なものに 課題解決に向け単組・現場で共有を



県内から約50人が集まり議論を深めた

県本部は現業闘争2024交流集会を津名ハイツで開催した。平瀬勲現業評議会議長は「能登半島地震で被災された方々にお見舞いを申し上げる。私たちができ

ることから支援を行いたいと考えている。2023現業・公企統一闘争では、県内の多くの現業の仲間と一緒に取り組んでいただき感謝申し上げる。現業・公企統一闘争は通年闘争であることから、春闘期より現場の課題解決に向け、2024現業・公企統一闘争の取り組みにご理解、ご協力をお願いする」とあいさつを行った。

次に、2023現業・公企統一闘争総括を北池宏光現業・公企部長が、2024現業・公企統一闘争推進方針を松本賀仁事務局長から提起し、全体で確認した。その後、松本賀仁事務局長をコーディネーターに、自治労現業評議会・小迫敏宏前議長、吉村秀則局長、県本部小原王の副委員長、尾西亮太郎書記長を迎えパネルディスカッションを行った。参加者からの質疑応答も行い、現業職場の取り組みなどの理解を深めた。続いて、県本部各プロッ

囲碁は岡田さん(兵庫県職労)が初優勝 将棋は高田さん(尼崎市職労)が3連覇

県本部第43回囲碁・将棋大会を2月17日、ひょうご共済会館で囲碁の部に5単組12人、将棋の部に18単組36人が参加し、熱戦を繰り広げた。試合はクラス別に行われ、囲碁の部本因坊では、県職労の岡田真一さんが初の栄冠に、将棋の部名人位



優勝した高田さん(左)と岡田さん(右)

作品募集! あなたの思いをカタチに

自治労コンクール

第30回 自治労文芸賞
第31回 写真コンクール
2024 まんが大笑

2024年8月31日(土) 締切 | 当日清印有効

応募資格 / 自治労の組合員
応募先 / 郵送および電子メールにて受け付けます。
〒102-8464 東京都千代田区六番町1
自治労総合企画総務局
報道担当 | 〇〇〇 | コンクール係まで
2024oubo@jichiro.gr.jp
発表 / 機関紙「じちろう」紙上で順次発表の予定。「文芸」「写真」「まんが」の各受賞作品は自治労文芸第31号で紹介いたします。
応募上の注意 / 必ず「応募票」を作品に添付してください。

▼要項と応募票はこちら

新入組合員の皆さん!! 保障の第1歩はじちろう共済で!

営利を目的としない生協が提供します

団体生命共済

入院・通院・手術など自慢の医療保障付き

長期共済

将来のための積み立てタイプの共済

手続きは組合で
新入組合員の方は継続募集期間以外も申し込みます。

自治労共済 推進本部

全日本自治体労働者共済生活協同組合

「こくみん共済coop」は営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地(先)の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。

※契約にあたってはパンフレットをご覧ください。
不明な点があれば、まずは組合にご連絡ください。